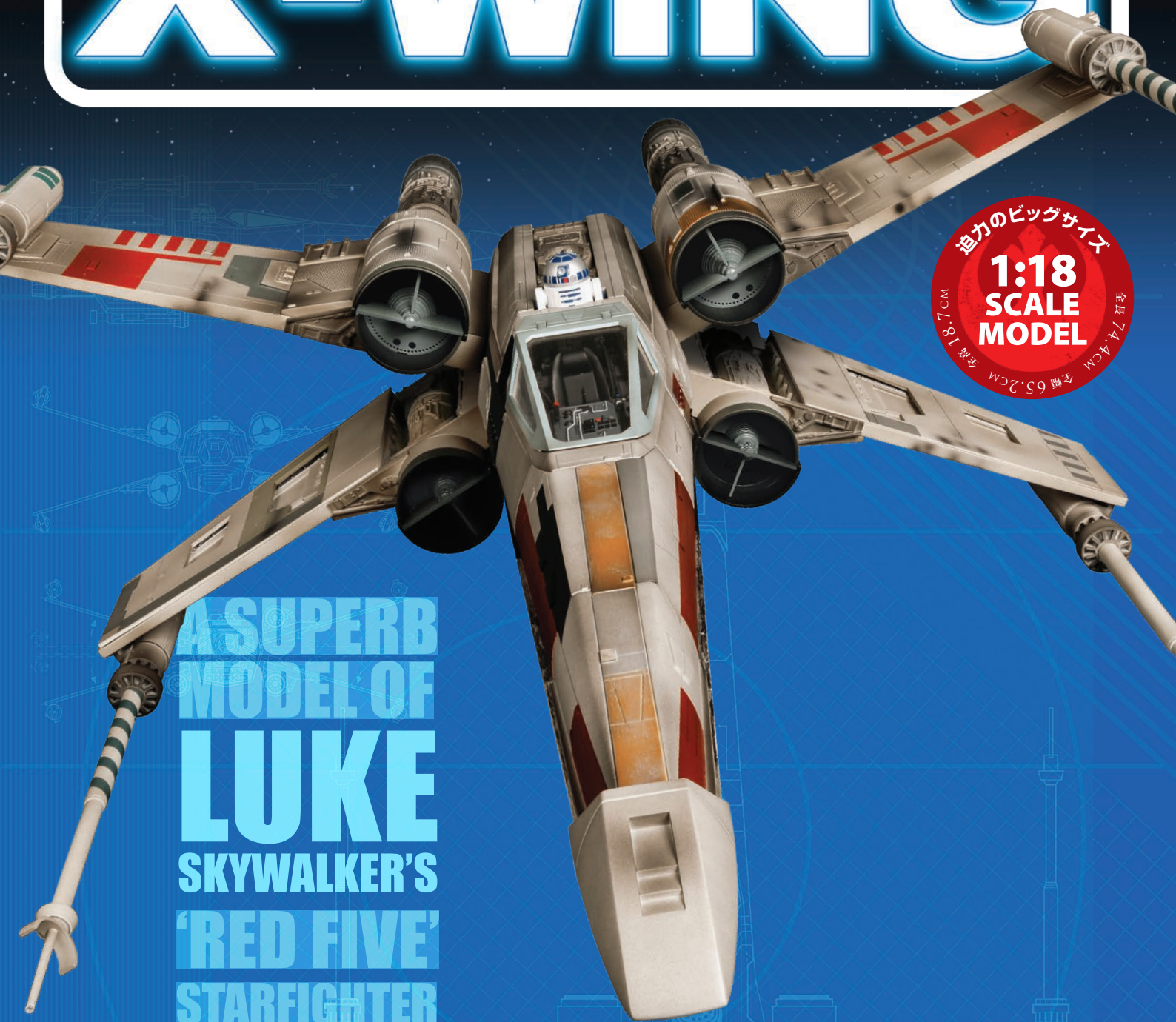


STAR WARS™

19

BUILD YOUR OWN

X-WING



迫力のビッグサイズ
1:18
SCALE
MODEL
全長 74.4cm
全幅 65.2cm
全高 18.7cm

A SUPERB
MODEL OF
LUKE
SKYWALKER'S
'RED FIVE'
STARFIGHTER



DEAGOSTINI

第19回配本 組立内容

STAGE 73	後部胴体フレーム.....	440
STAGE 74	プロトン魚雷1	448
STAGE 75	プロトン魚雷2	454
STAGE 76	プロトン魚雷3	460

後部胴体フレーム

提供パーツは、ドロイドソケットとコックピット隔壁の間にあるカーゴベイ(貨物室)を含む、後部胴体の前部を補強するために使用する。このステージでは、X-wing 後部の金属フレームワークの残りと一緒に組み立てる。

ステージ73の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

左カーゴベイサイドストラット

右カーゴベイサイドストラット

左隔壁補強

右隔壁補強

左カーゴベイ下部ストラット

右カーゴベイ下部ストラット

XW04ネジ(×3)

XW02ネジ(×7)

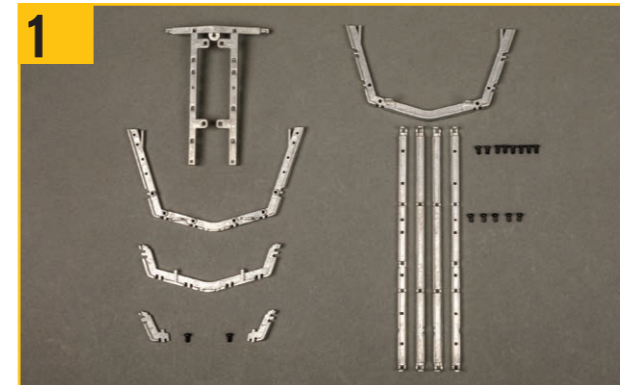
左カーゴベイ補強

右カーゴベイ補強

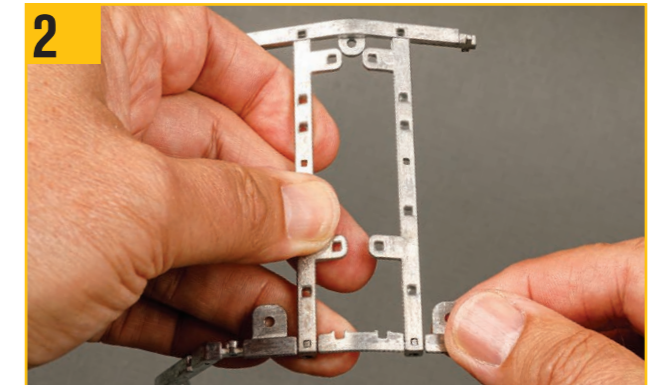
フレームの組み立て

胴体の後部を支えるフレームワークの組み立てを開始する。ここでは、ステージ71および72で提供し、保管しているパーツを使用するが、その中には左右のパーツがいくつかあるので、混同しないように注意する。

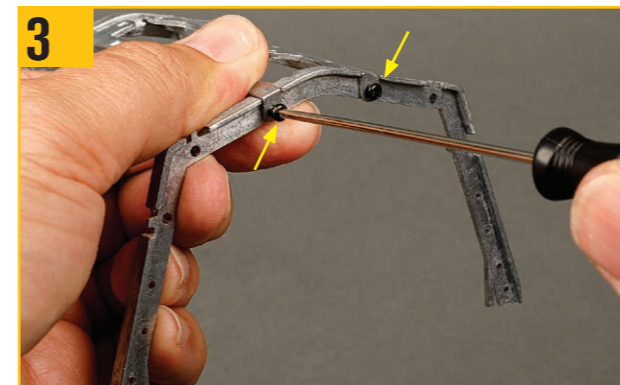
[ネジが最後まで締め付けづらい場合は、事前にタップを切ると締め付け易くなるが、その場合はφ2.3mmのタップを切るようにする。]



1 ステージ71と72に付属していた金属フレーム部分とネジをすべて用意する。



2 ベースフレームの端を下部リアフレームに合わせ、位置決めピンが穴に入るようにする。



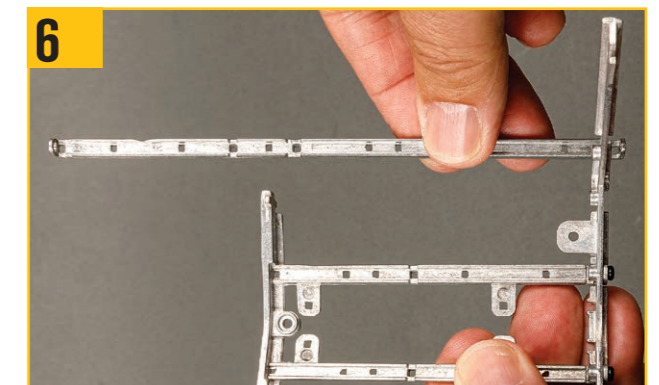
3 写真のようにXW01ネジを使用して、ベースフレームの端を下部リアフレームに固定する。



4 ステージ 71の中央下部フレームと左右フレーム、ステージ72の4つの左右ストラットと下部前方フレームを用意する。



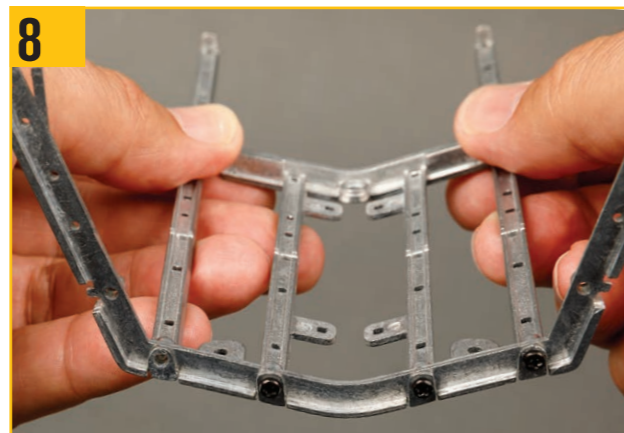
5 ストラットには、左に「L」、右に「R」のマークが付いている。(他のパーツも同様に識別される。)



6 右ベースストラットをこのように保持し、端を下部リアフレームに合わせ、位置決めピンが穴に入るようにする。



7 右ベースストラットの中央がベースフレームに固定される。XW01ネジで右ベースストラットの端を固定する。



8 手順6と同様に、左ベースストラットを合わせる。



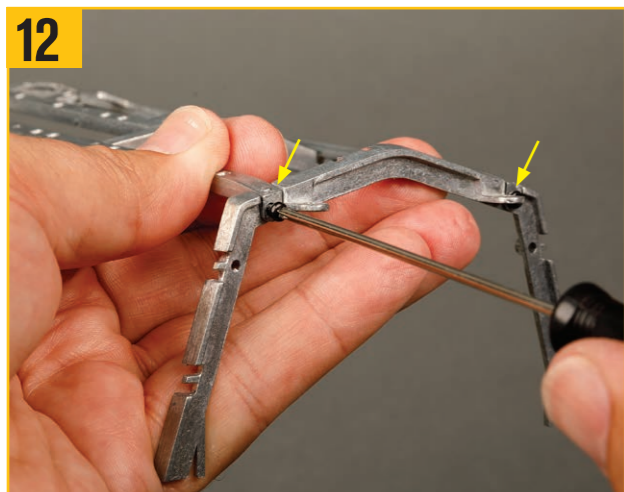
9 XW01ネジで左ベースストラットを固定する。



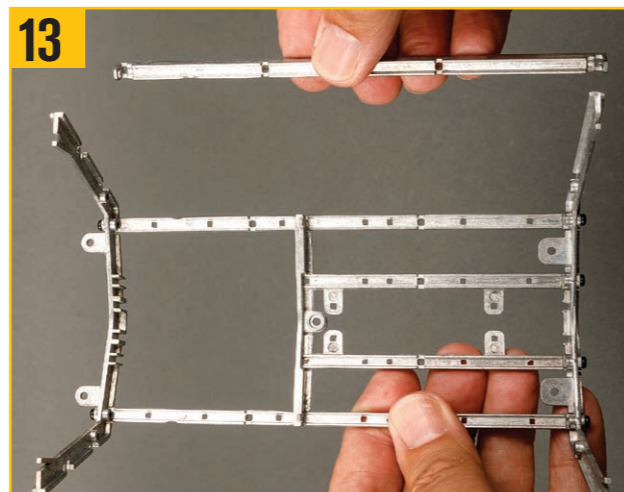
10 写真のように下部前方フレームを用意する。



11 ベースストラットの端に下部前方フレームを合わせる。



12 写真のようにXW01ネジで、左右のベースストラットをフレームに固定する。



13 写真のように右ストラットを用意する。



14 端を下部前方フレームに合わせる。



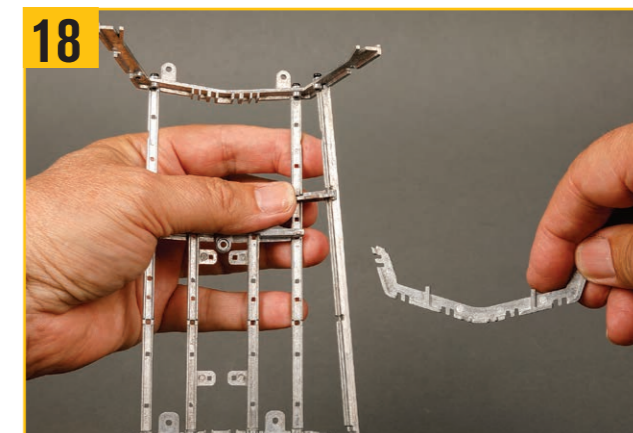
15 手順16~20で右ストラットが動くように、XW01ネジで緩く固定する。



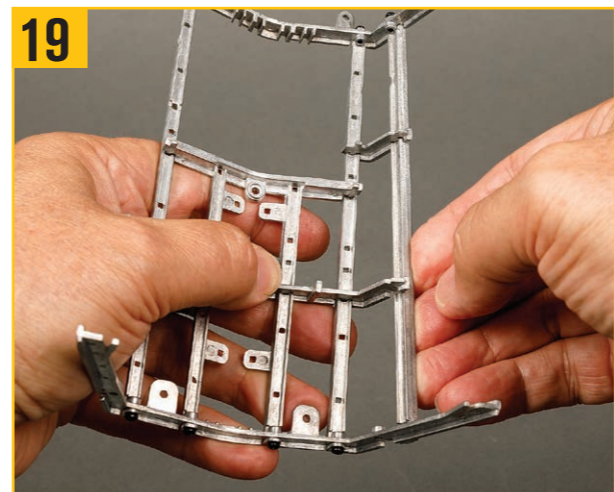
16 右フレームを用意する。



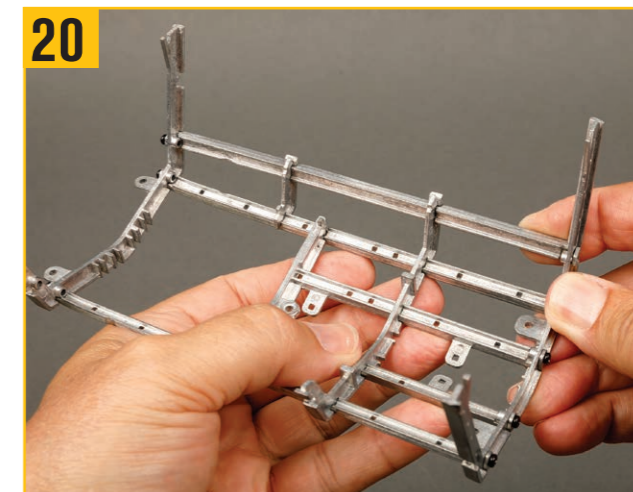
17 2本の位置決めピンを右ベースストラットと右ストラットの穴に合わせる。



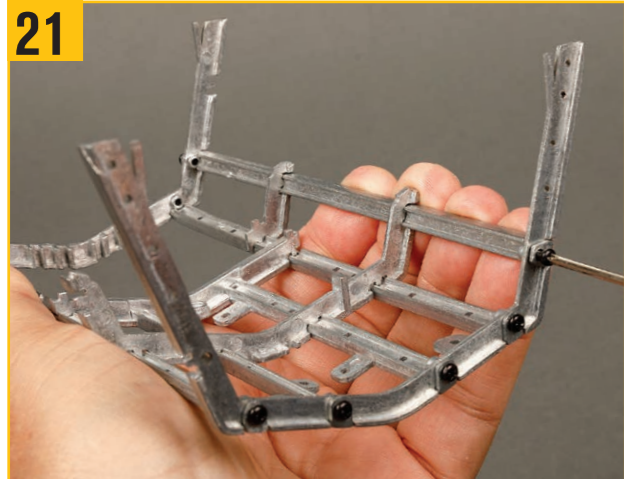
18 右フレームを固定し、写真のように中央下部フレームを用意する。



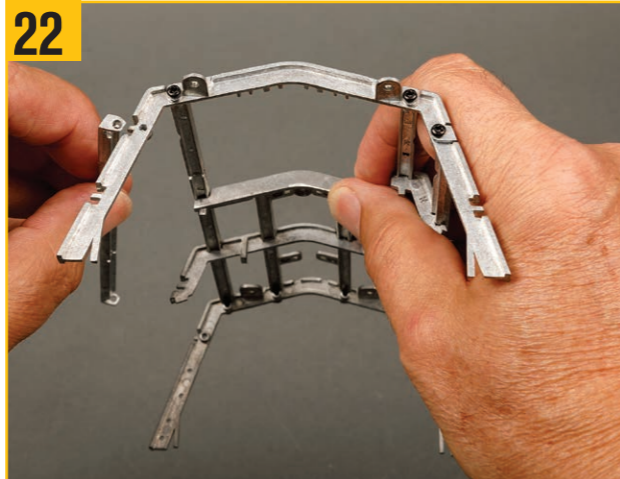
19 写真のように、中央下部フレームの位置決めピンをベースフレームと右ストラットの穴に合わせる。



20 フレームワークを固定し、右ストラットの端を下部リアフレームに合わせる。



21 右ストラットの後方をXW01ネジで固定し、下部前方フレームに固定している前方のネジをしっかりと締める。



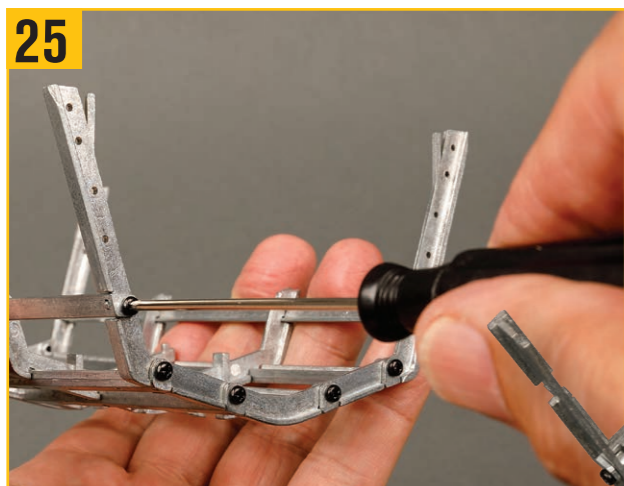
22 手順14と同様に、左ストラットを合わせる。



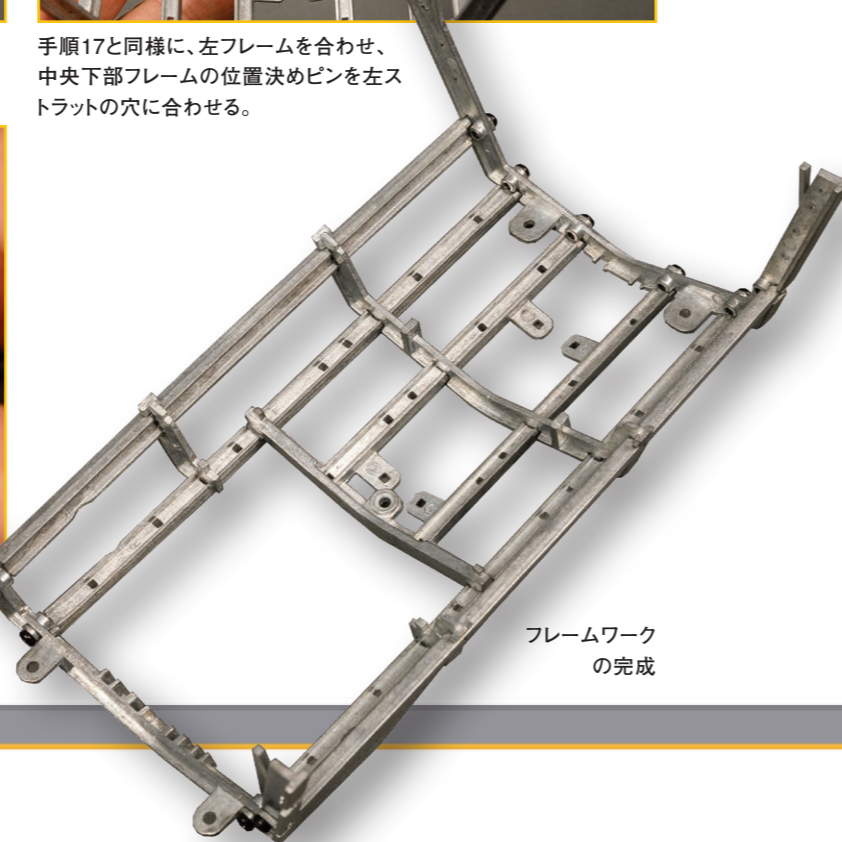
23 XW01ネジで緩く固定する。



24 手順17と同様に、左フレームを合わせ、中央下部フレームの位置決めピンを左ストラットの穴に合わせる。



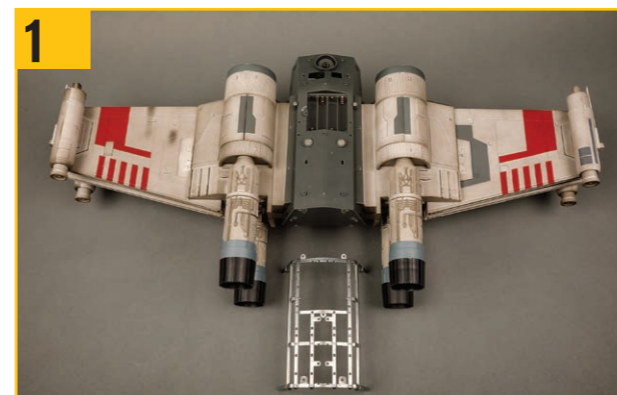
25 左ストラットの後方をXW01ネジで固定し、前方のネジをしっかりと締める。



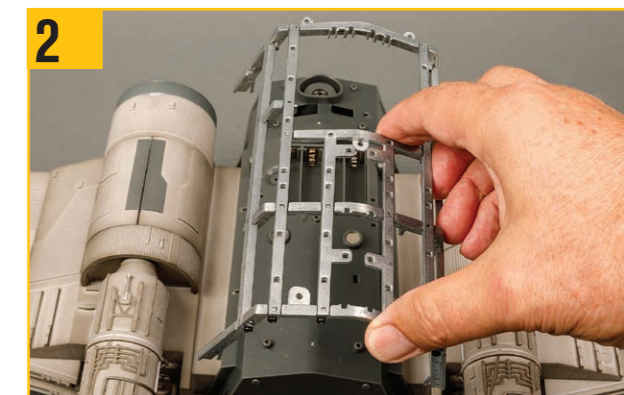
フレームワークの完成

フレームの取り付け

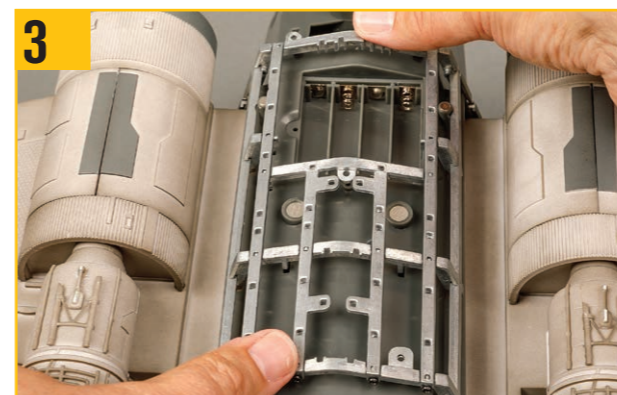
フレームワークが完成したら、ステージ72の胴体と翼のパーツに取り付ける。



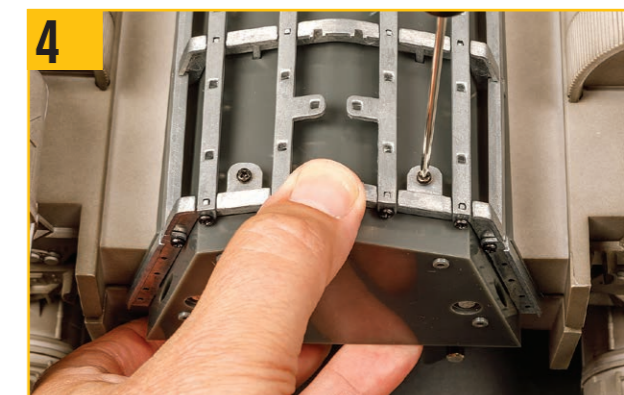
1 胴体と翼のパーツを逆さまにして作業面に置き、フレームワークを取り付ける準備をする。



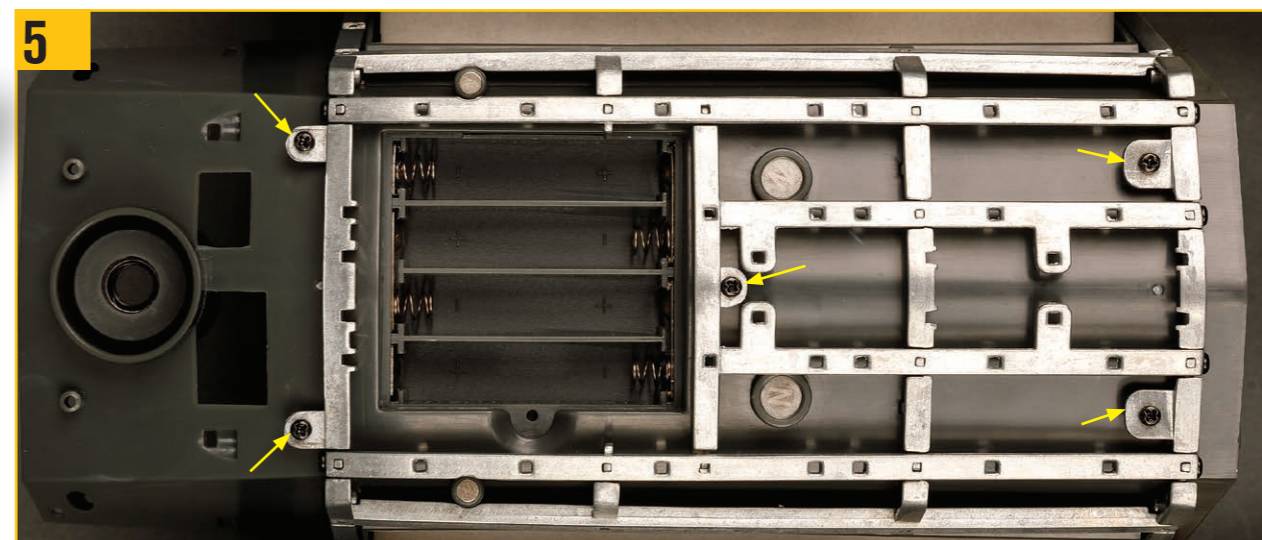
2 フレームワークは写真の位置に収まる。



3 フレームワークを押し込む。



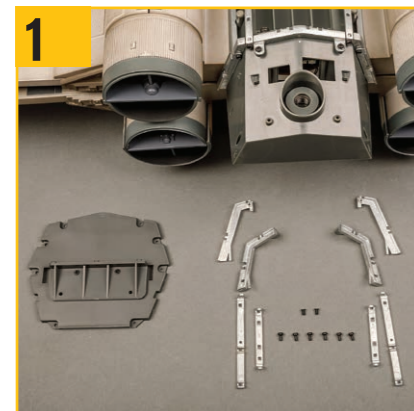
4 XW02ネジで固定する。



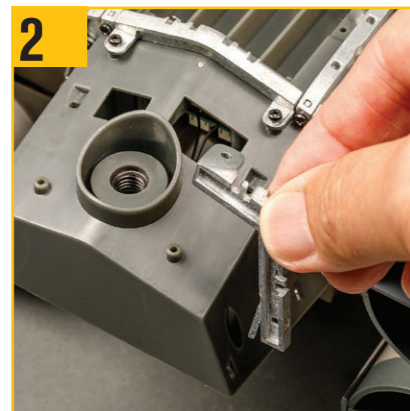
5 写真の矢印5カ所すべてをXW02ネジで固定する。

フレームの完成

これで、このステージで提供される隔壁と金属製の補強パーツを組み立てる準備が整った。



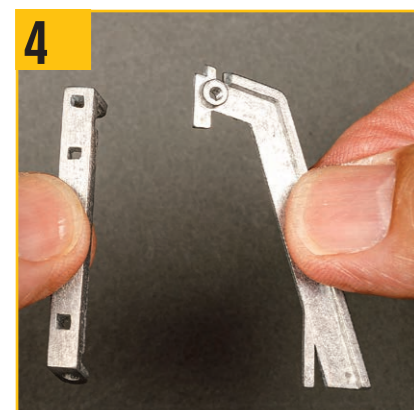
今回提供されたパーツと、ステージ65の隔壁パーツを用意する。



写真のように右隔壁補強を用意する。



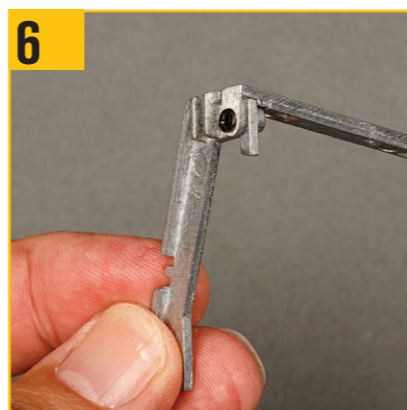
XW02ネジで固定する。



右カーゴベイ補強と右カーゴベイ下部ストラットを用意する。



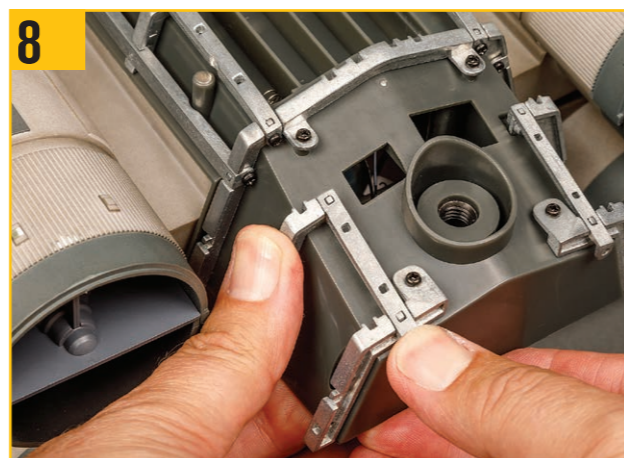
写真のようにパーツを合わせる。



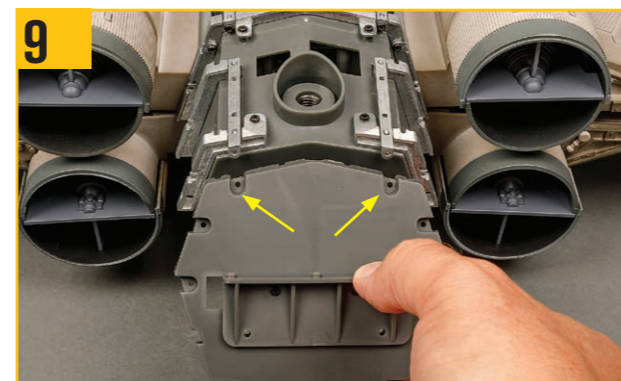
XW04ネジでパーツを固定する。



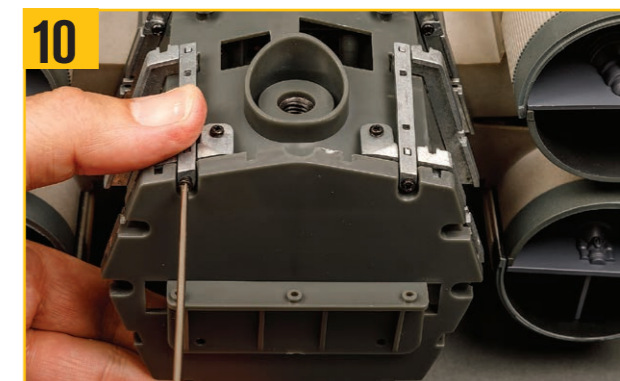
手順6のパーツを右隔壁補強に合わせ、端の穴を位置決めピンに差し込む。



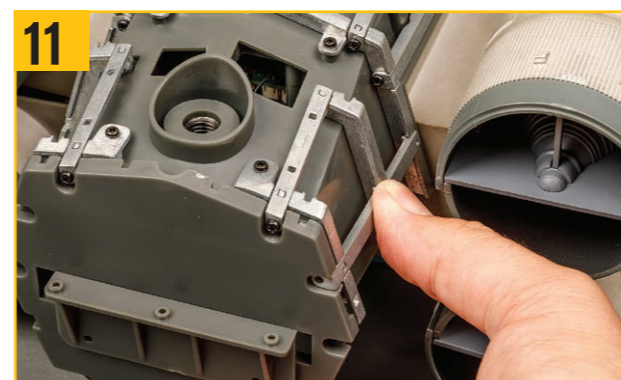
手順2~7と同様にモデルの左側も組み立てる。



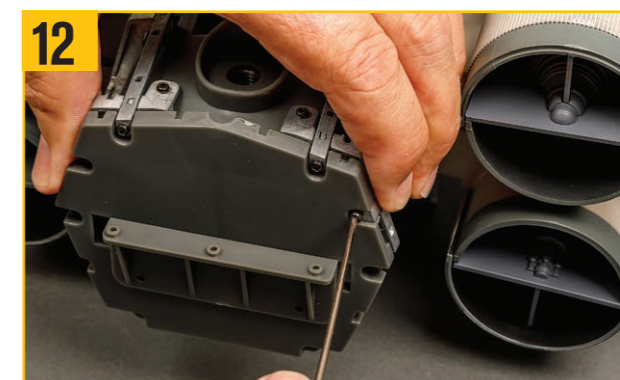
隔壁パーツを写真の向きに合わせ、金属補強の下端に2つのノッチをはめ込む。



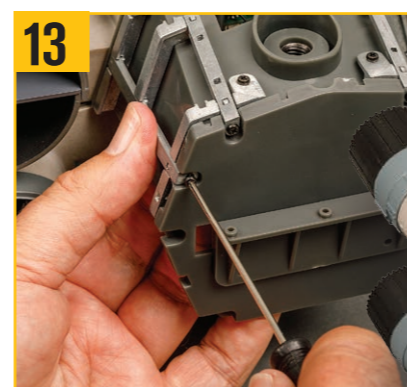
2本のXW02ネジを使用して、金属補強を隔壁パーツに固定する。



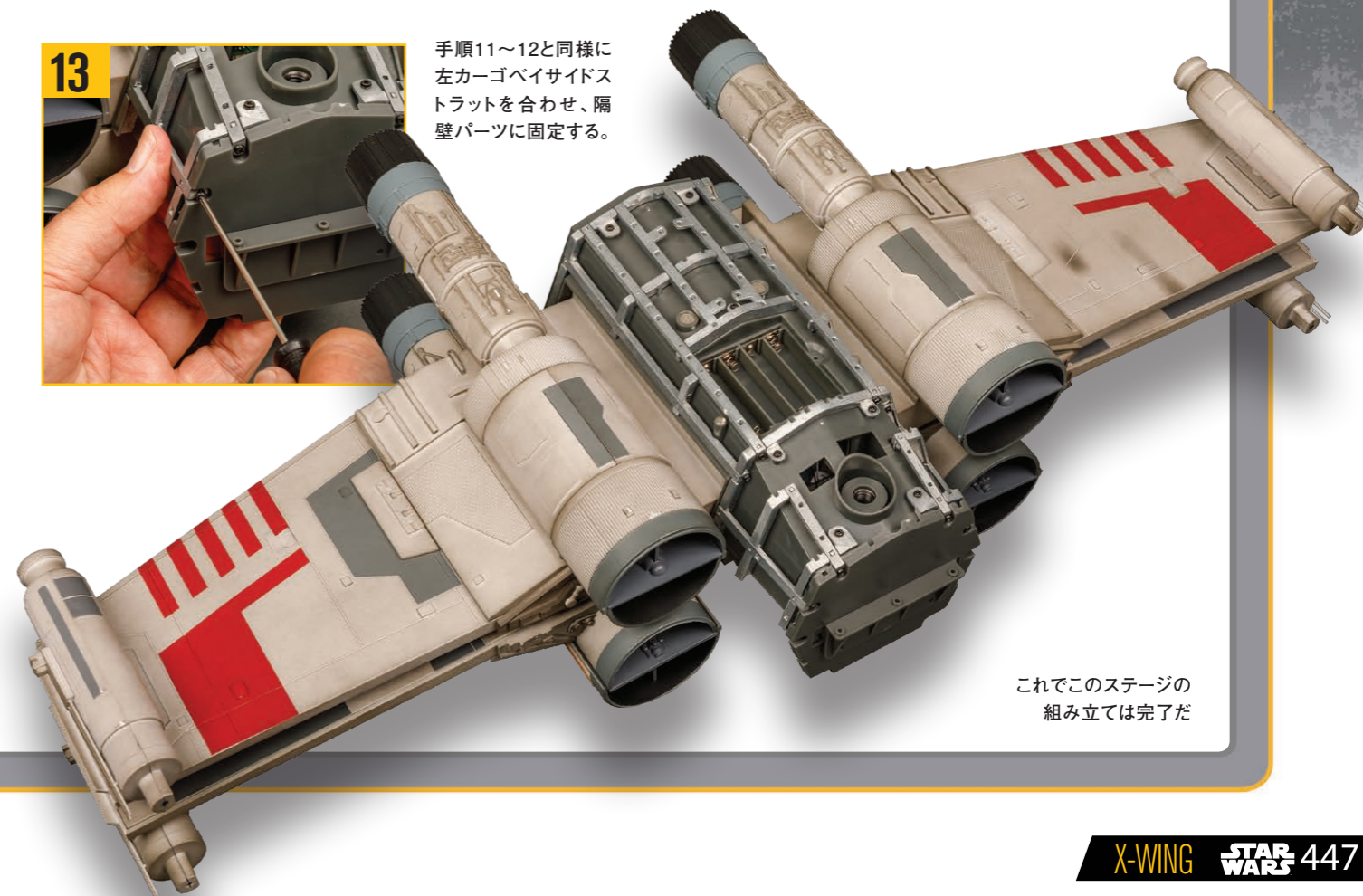
右隔壁補強と下部前方フレームの間に右カーゴベイサイドストラットを取り付け、位置決めピンを穴に合わせる。



XW02ネジを使用して右カーゴベイサイドストラットを隔壁パーツに固定する。



手順11~12と同様に左カーゴベイサイドストラットを合わせ、隔壁パーツに固定する。



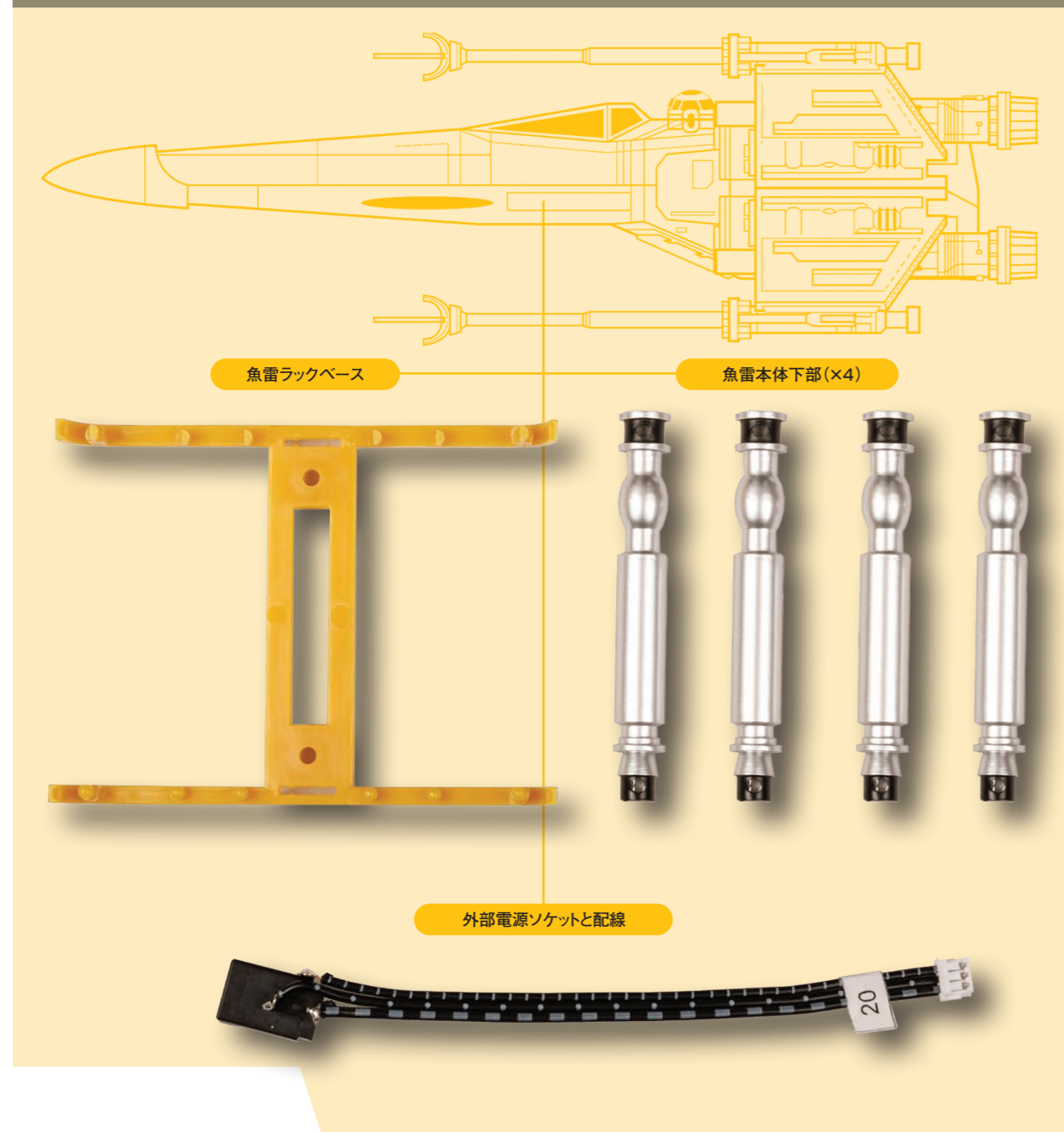
これでこのステージの組み立ては完了だ

プロトン魚雷 1

提供されたパーツで、ルーク・スカイウォーカーがデス・スターを破壊するために使用したプロトン魚雷のラックを組み立てる。完成すると、ラックは胴体の内側、コックピットの下に収まる。また、外部電源のリード線も用意されている。

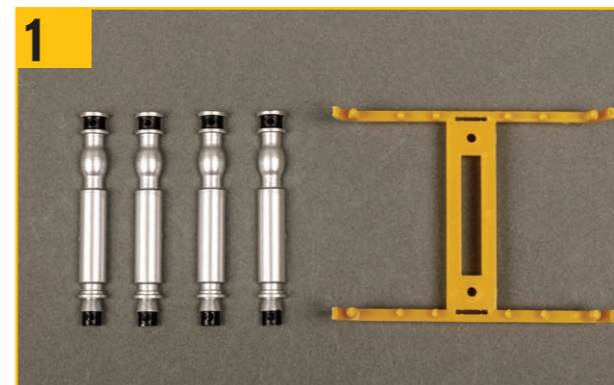
ステージ74の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

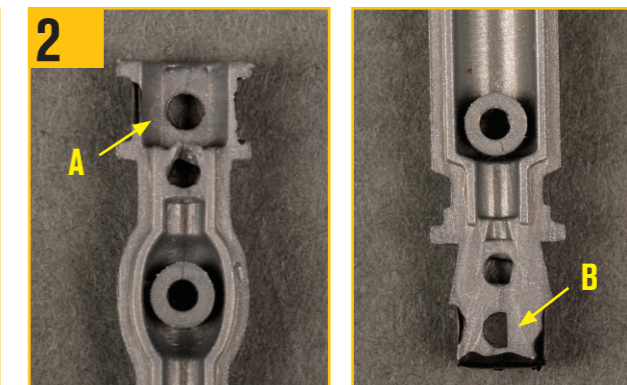


魚雷ラックの組み立て

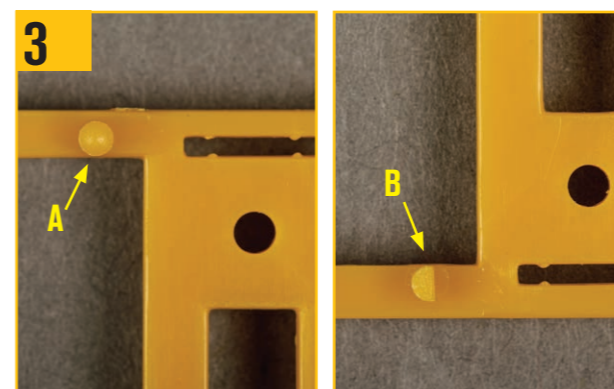
ラックの組み立ては、まず魚雷本体下部を取り付ける。単純な押し込み式だが、写真のように一方にしか収まらない。



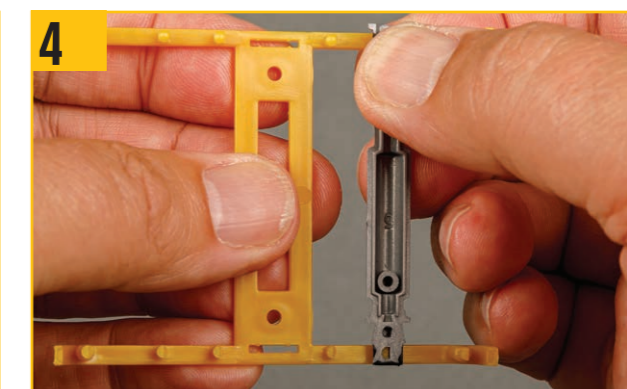
4つの魚雷本体下部と魚雷ラックベースを用意する。



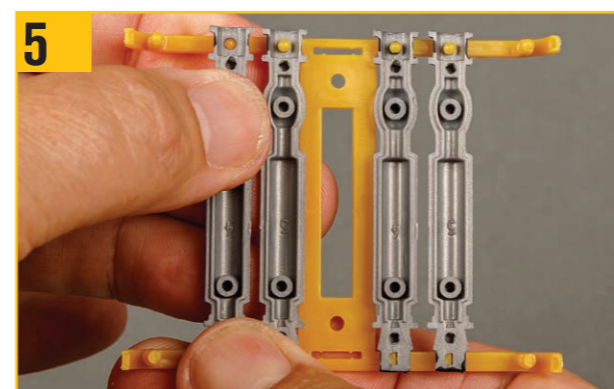
魚雷本体下部をよく観察し、先端の穴の一方は丸く(A)、もう一方はD型(B)であることに注意する。



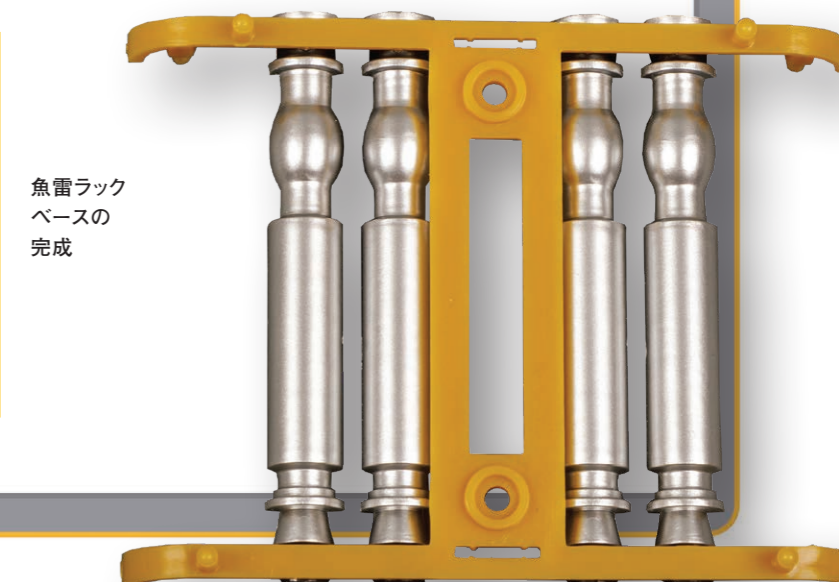
同様に、魚雷ラックベースの一方の端には丸いピン(A)があり、もう一方の端にはD型のピン(B)がある。



ラックの中心にある4対のピンに、魚雷本体下部の穴を合わせ押し込む。



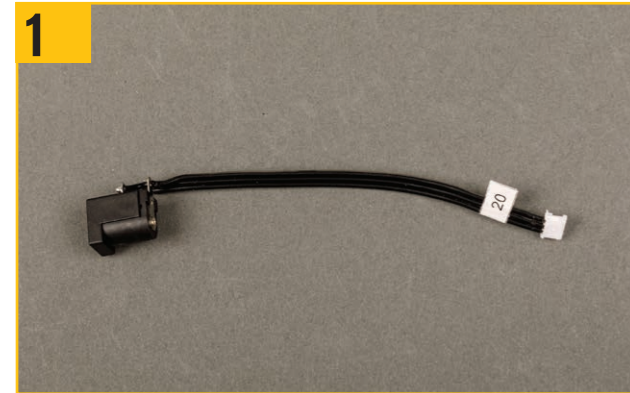
4つの魚雷本体下部を同じように取り付ける。



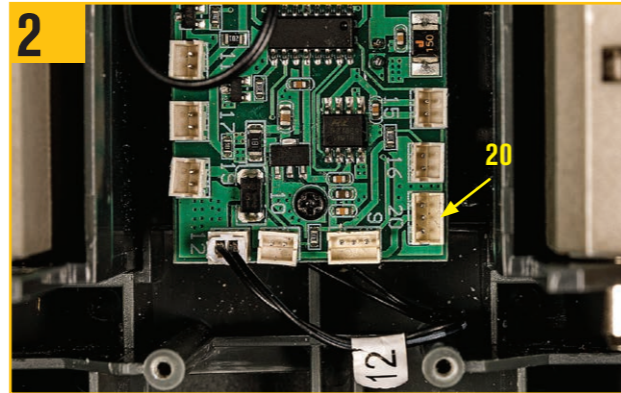
魚雷ラックベースの完成

ソケットの組み立て

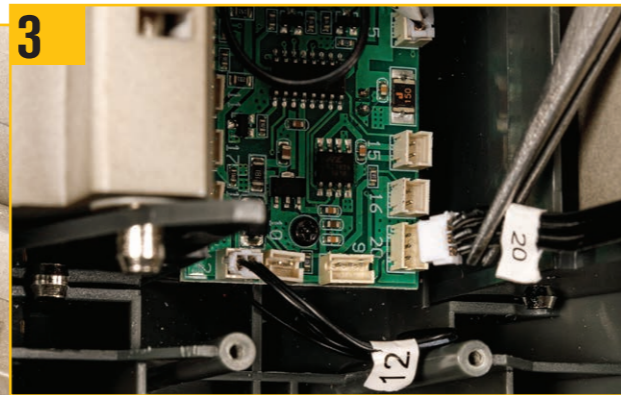
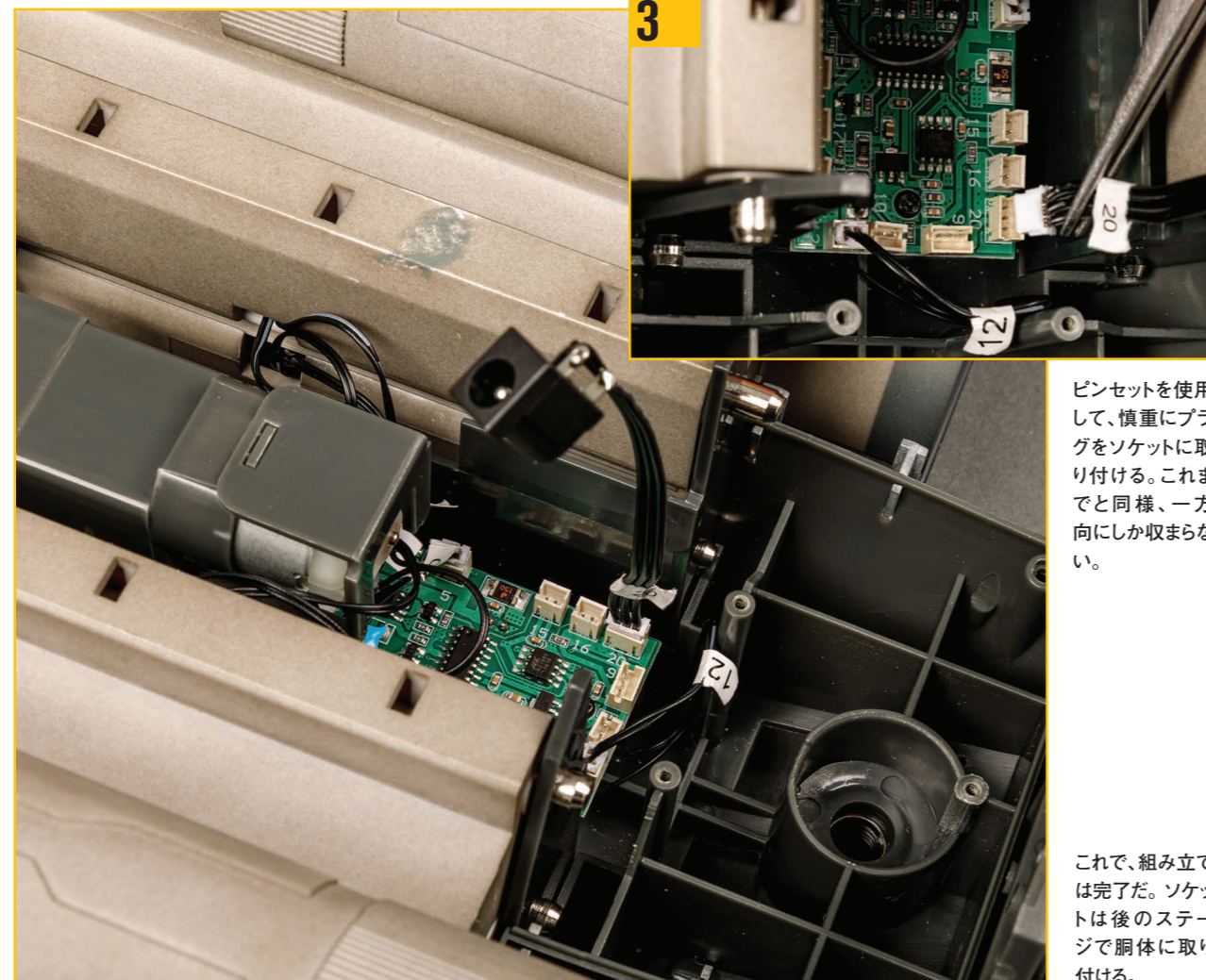
外部電源用のソケットをX-Wing内のメイン回路基板に差し込む。



今回提供された20のラベルが付いたソケットとリード線を用意する。



後部胴体の内側に取り付けられた回路基板上のソケット番号20(矢印)を確認する。



ピンセットを使用して、慎重にプラグをソケットに取り付ける。これまでと同様、一方向にしか収まらない。

これで、組み立ては完了だ。ソケットは後のステージで胴体に取り付ける。

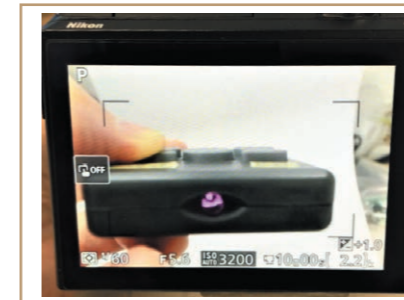
お詫びとご確認

第18回配本ステージ72電気回路のテストで記載しましたように「外部電源ソケットと配線」を電気回路基板のソケットに差し込むことで、電気回路のテストを行うことができます。お客さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。

尚、トラブルシューティング:「なにも機能しない場合」第18回配本ステージ72(P436)電気回路のテストを参照頂き、下記事項も合わせてご確認願います。

リモコンの信号を確認する。

■リモコンが正しく機能していることを確認する。



- ①デジタルカメラの液晶画面でリモコンのLEDランプを確認する。
 - ②リモコンのボタンを押すと画面のLEDが赤紫色に点灯・点滅することを確認する。
- ※事前に家電(赤外線通信タイプ)リモコン(TV、エアコン、など)のLEDが液晶画面で点滅・点灯することを確認して下さい。
※スマートフォンの場合、iPhoneカメラでは確認できません。Androidは一部の機種で可能(メーカーにご確認下さい)。

■発光が確認できればリモコンは正常です。発光が確認できない場合には、リモコンの電池と組立の確認を再度行って下さい。

▶改善できない場合には「リモートコントロール回路基板」の不良と思われます。コールセンターに問合せ願います。

■リモコンとの通信を確認する。



- ①メインパワースイッチ(ラベル19)のスライドスイッチをオンにする。
- ②リモコン信号を受信するアンテナの方向を確認する。
- ③リモコンの右上のボタンを押して、レーザージェネレーションの4つのLEDライト/リモコンの左下のボタンを押して、エンジンの4つのLEDライト/リモコンの左上のボタンを押して、コクピットのLED計器灯。それぞれのLEDが点灯することを確認する。

■レーザーLED及びエンジンLEDが点灯する。翼の開閉及びドロイドモーターが回転した。リモコン信号を受信できたので問題ありません。

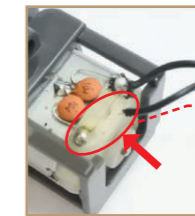
▶LEDが点灯しない場合

- ①回路基板から各翼のレーザーリード線及びエンジンリード線のプラグを外して、バッテリーボックスで確認する。
- ②バッテリーボックスでLEDの点灯が確認している場合には、「リモコン受信アンテナ」「電気回路基板」のどちらかの不具合が考えられます。



- ④リモコンの中央ボタンを押して、翼の開閉を確認する。リモコンの右下ボタンを押して、ドロイドモーターの回転を確認する。それぞれのモーターが駆動することを確認する。

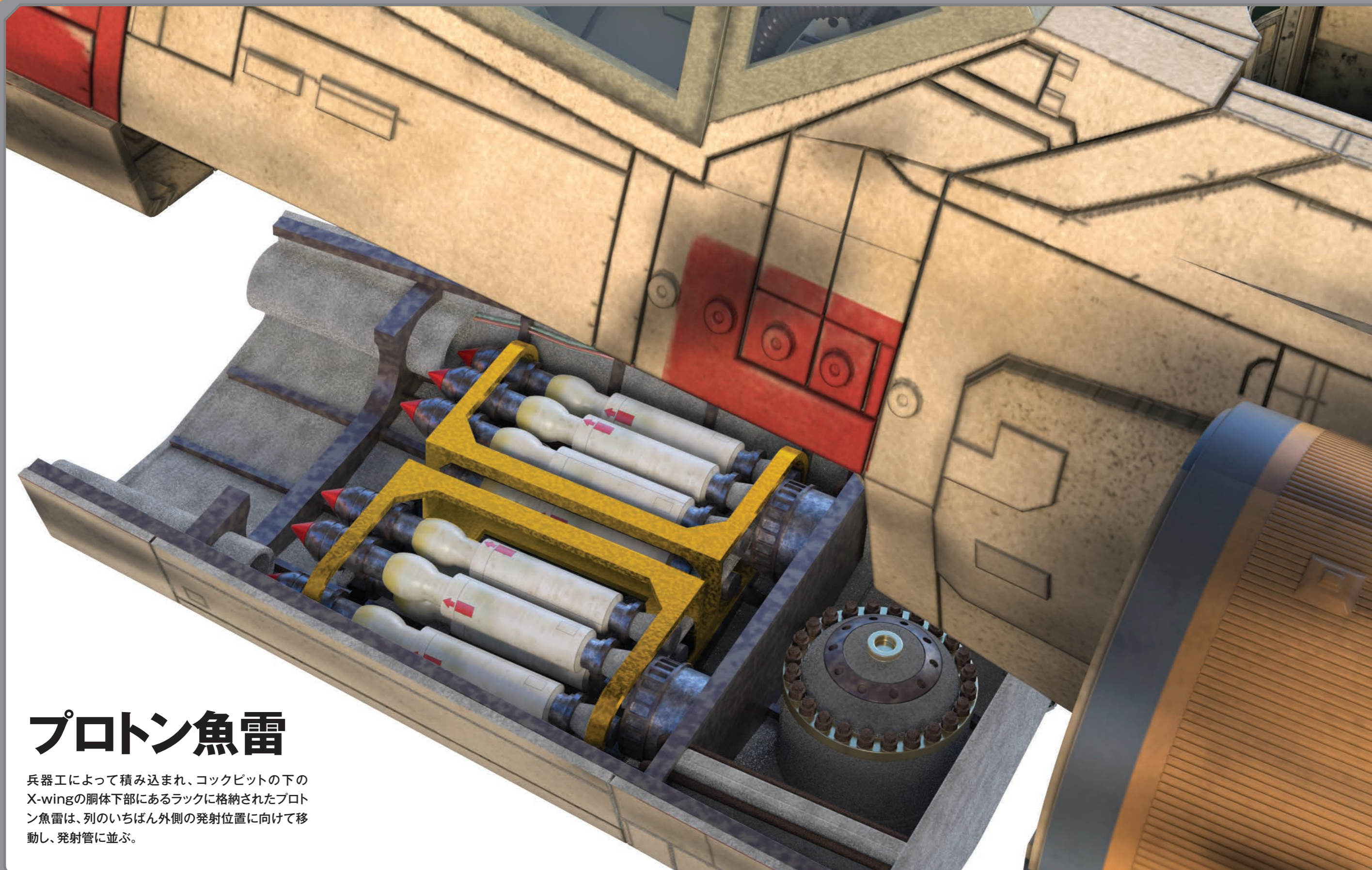
※リード線のプラグを抜き取ることが難しい場合、回路基板を固定しているネジ2本を取り外し後部胴体のハウジングから取り出して作業を行い易くして下さい。



▶駆動しない場合

- ①後部胴体ベースのバッテリー収納の電池挿入方向や接点板の接触具合や電源リード線断線がないかを確認する。
- ②STAGE68ギヤボックスの組み立て、モーターの取り付けに不具合がないかを確認する。
- ③モーターのリード線端子に断線がないか確認する。

▶駆動が確認できない場合には、「リモコン受信アンテナ」「電気回路基板」のどちらかの不具合が考えられます。コールセンター迄お問合せ願います。



プロトン魚雷

兵器工によって積み込まれ、コックピットの下の X-wing の胴体下部にあるラックに格納されたプロトン魚雷は、列のいちばん外側の発射位置に向けて移動し、発射管に並ぶ。

プロトン魚雷 2

提供されたパーツで、魚雷本体の上半分と中央のスペーサーを取り付け、プロトン魚雷ラックの続きを組み立てる。
また、6個の円錐形の魚雷弾頭も組み立てる。

ステージ75の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

魚雷本体上部(×4)

魚雷弾頭(×6)

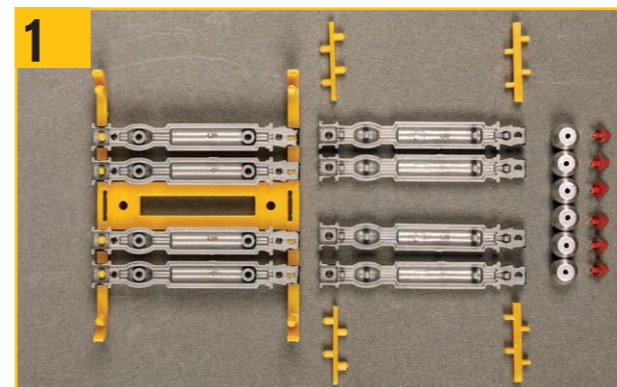
魚雷ラックスペーサー(×4)

魚雷ノーズコーン(×6)

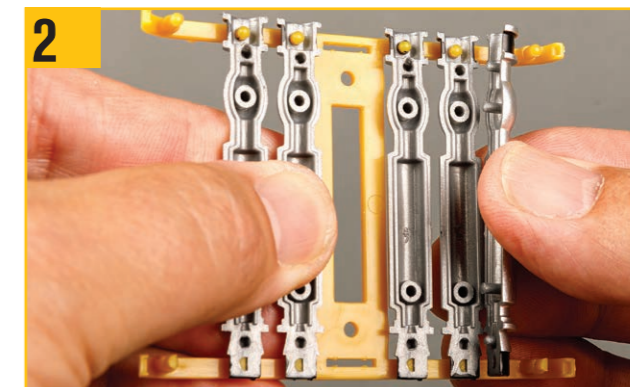
ラックスペーサーはD型ピンと丸状ピンの2種類がある。

魚雷ラックの組み立て

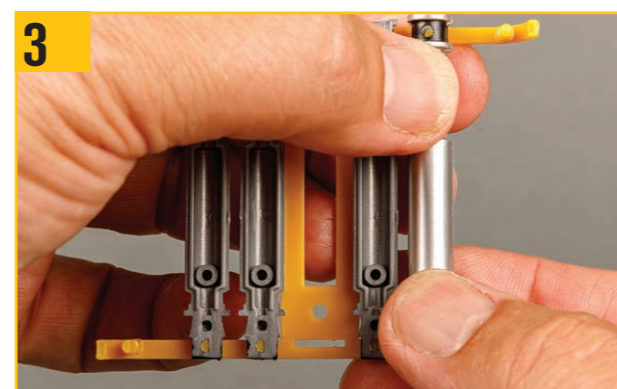
ラックの下部に収めた4つの魚雷に上半分を取り付けて完成させ、その上にスペーサーを取り付ける。



1 ステージ74のパーツと、このステージで提供されるすべてのパーツを用意する。



2 魚雷本体上部の1つを、魚雷本体下部と並べる。これらの形状は一方方向にしか一致しない。



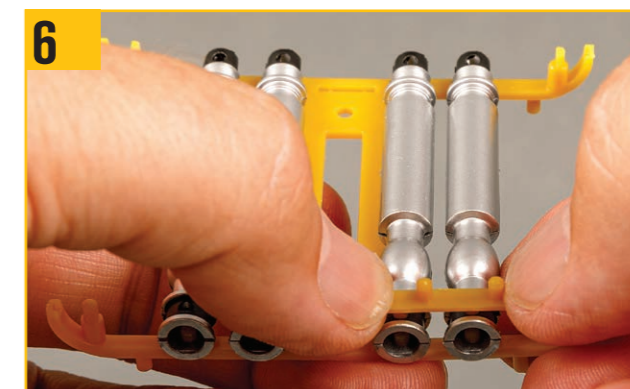
3 本体上部の固定ピンを本体下部の穴に押し込む。



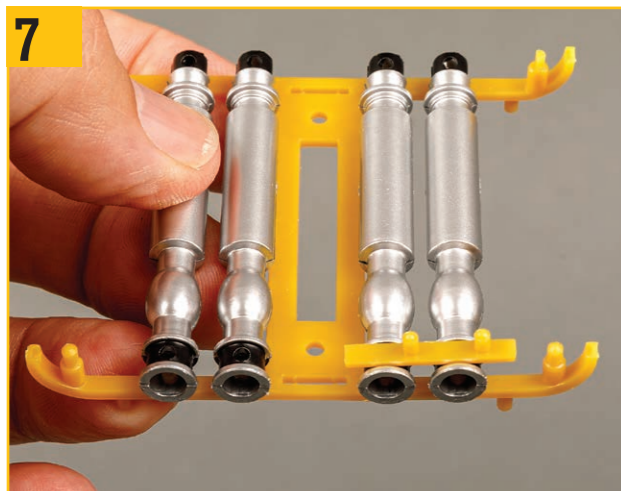
4 手順2~3と同様に、4つの魚雷本体をすべて組み立てる。



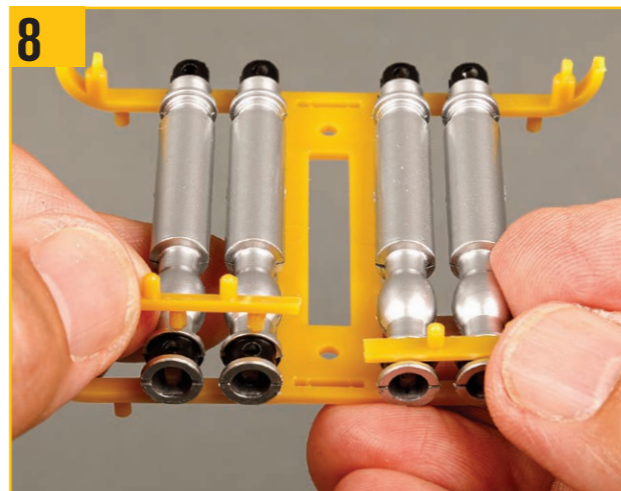
5 ピンが穴と同じ形状の魚雷ラックスペーサーを用意する。写真のように持ち、ピンを魚雷本体の穴に合わせる。



6 ピンを穴に押し込み、スペーサーを固定する。



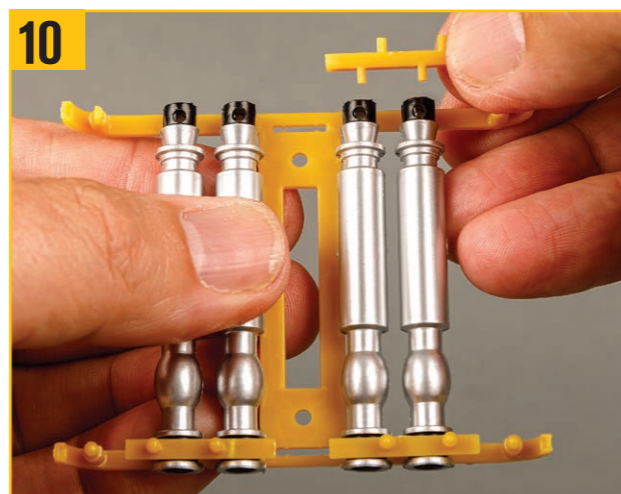
スペーサーは写真のようにはまるはずだ。



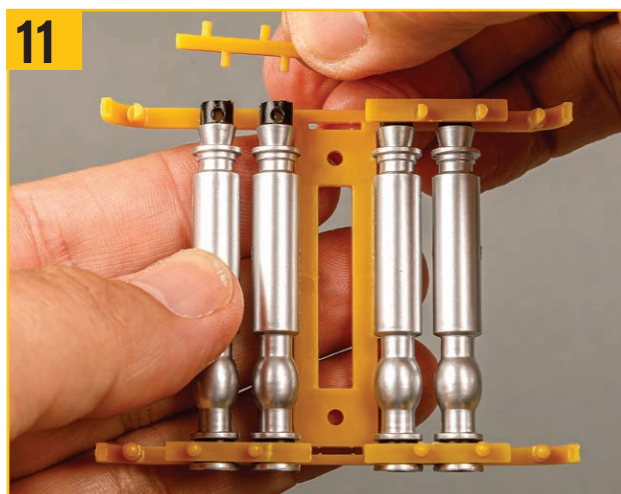
最初のスペーサーと左右逆になるよう2つ目のスペーサーを配置する。



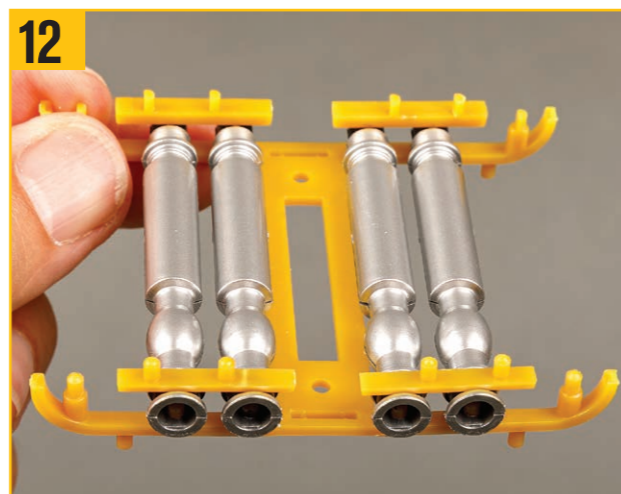
スペーサーを魚雷本体の穴に取り付ける。



写真のように3つ目のスペーサーを取り付ける。



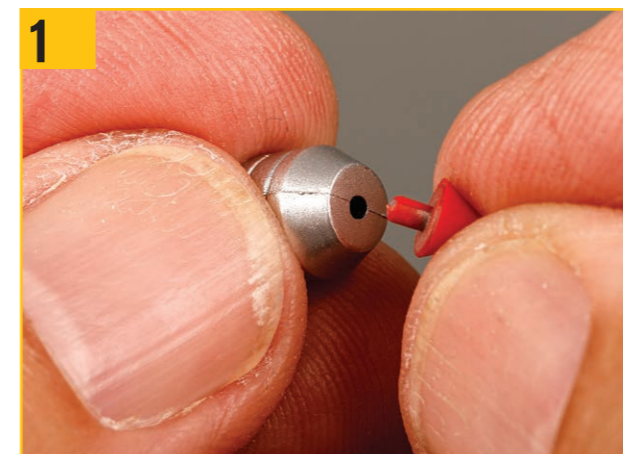
そして同じように4つ目のスペーサーを取り付ける。



ラックは写真のようになる。

弾頭の準備

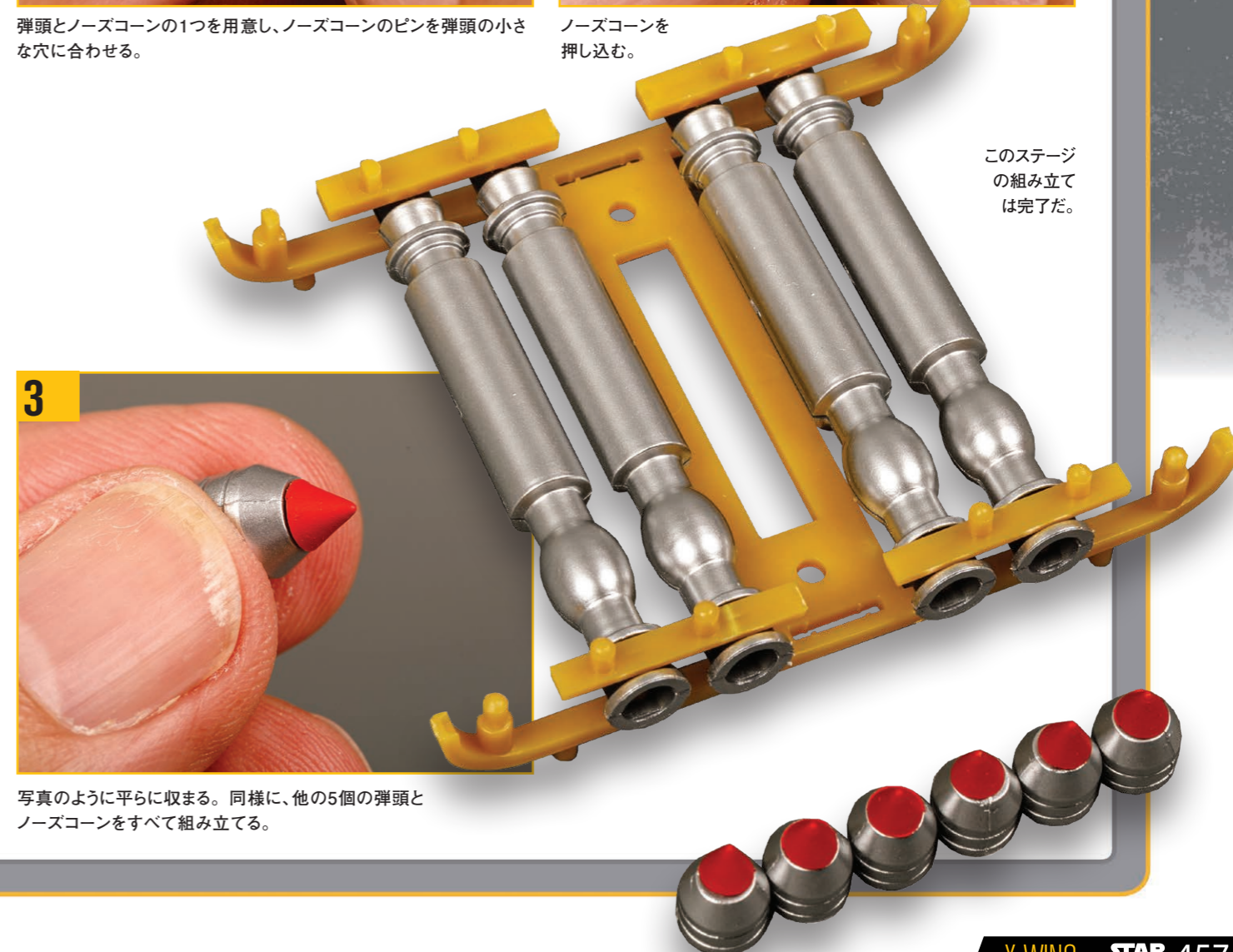
6個の弾頭は、ラックの上段にある魚雷に取り付けられる。その組み立てはステージ76で行うので、このステージでは、弾頭にノーズコーンを取り付けて準備する。



弾頭とノーズコーンの1つを用意し、ノーズコーンのピンを弾頭の小さな穴に合わせる。



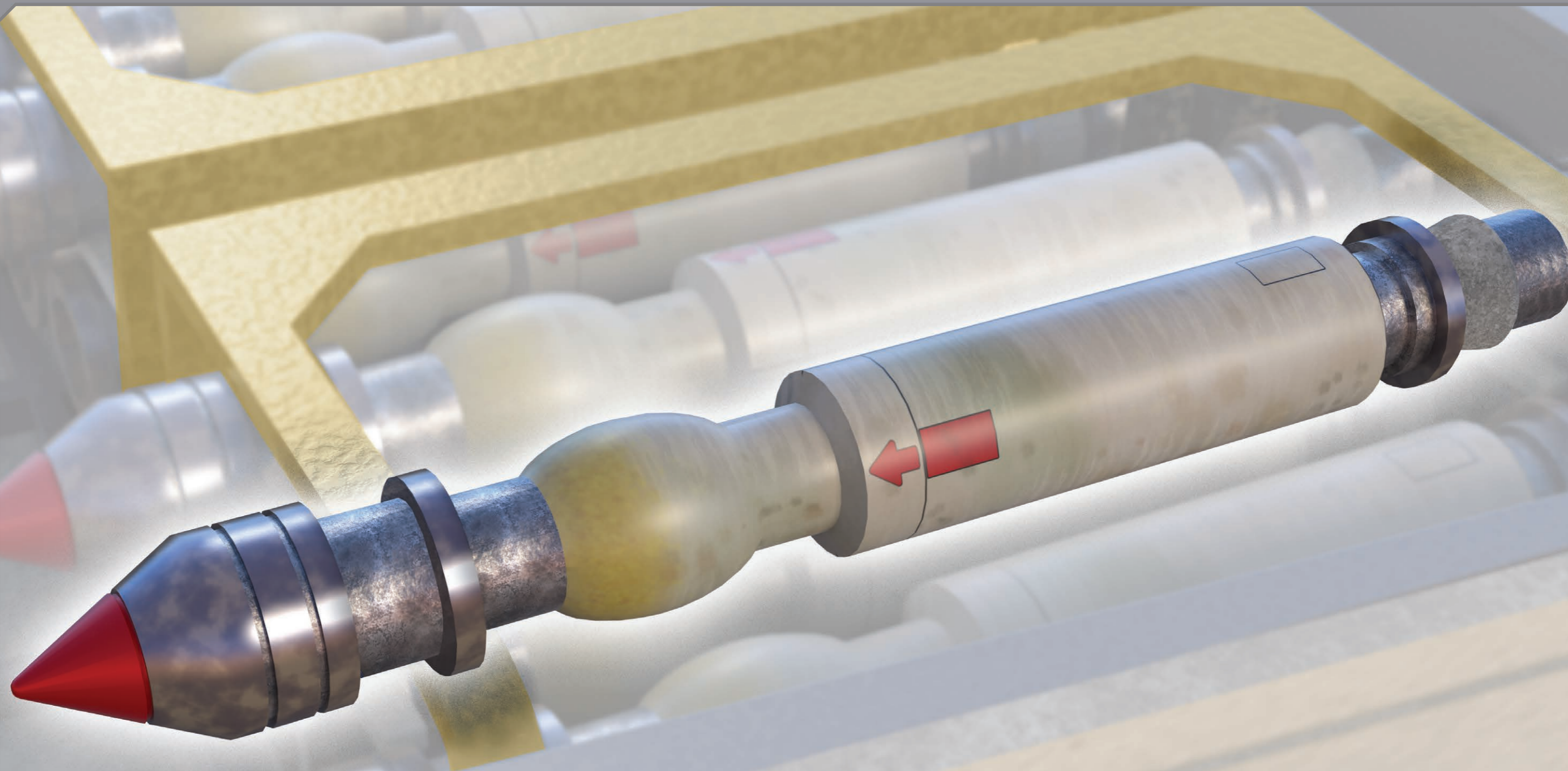
ノーズコーンを押し込む。



このステージの組み立ては完了だ。



写真のように平らに収まる。同様に、他の5個の弾頭とノーズコーンをすべて組み立てる。



プロトン魚雷

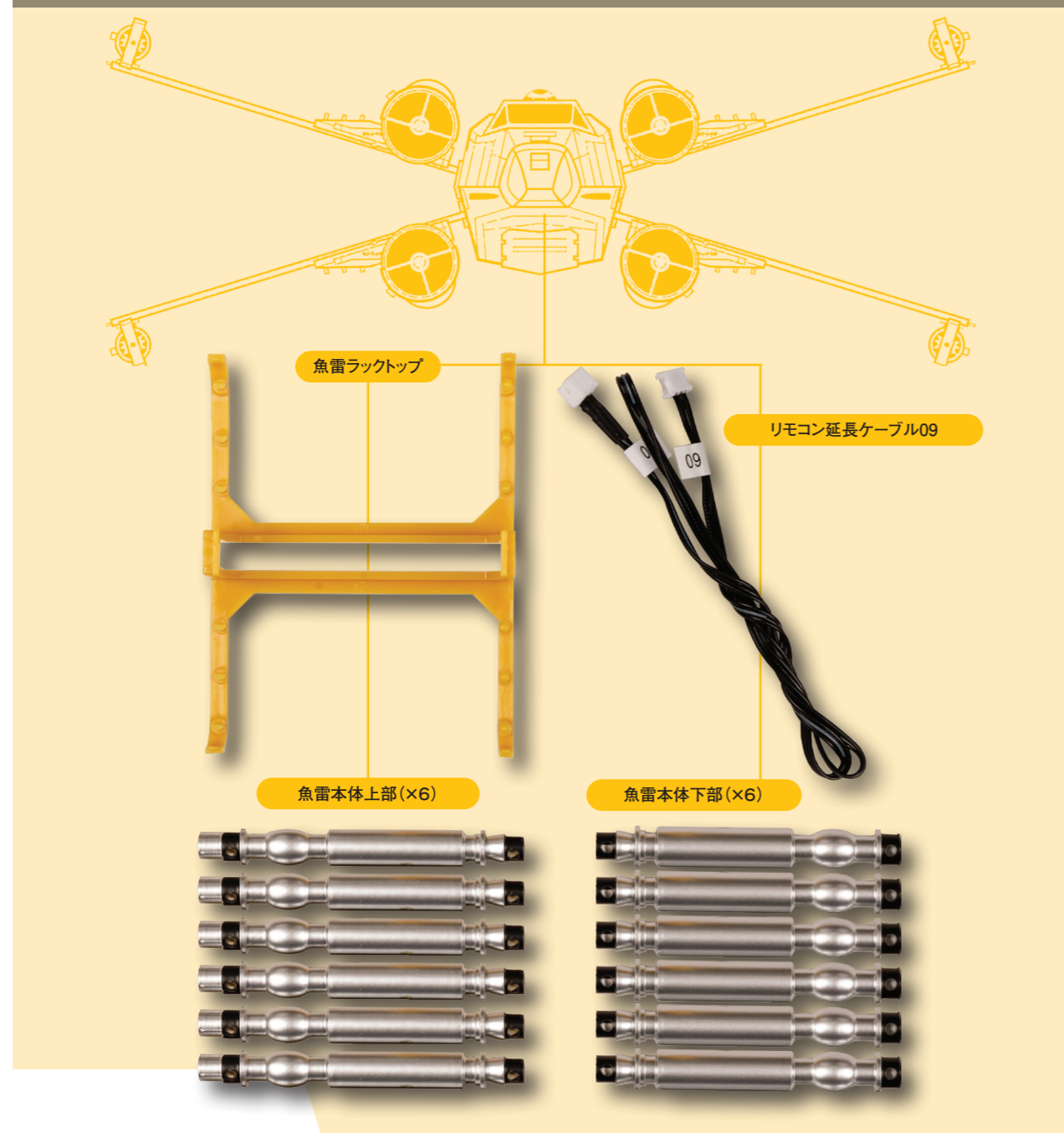
プロトン魚雷のエネルギーを得た粒子散乱弾頭は、破壊力のある爆発を引き起こした。魚雷ラックに取り付けられた長い発射管から発射された魚雷は、非常に機動性が高く、わずか1メートル以内で90度旋回することができる。

プロトン魚雷 3

提供されたパーツで、プロトン魚雷ラックの組み立てが完了する。X-wingの機首にあるリモコンアンテナと胴体後部の回路基板をつなぐための延長ケーブルも用意されている。

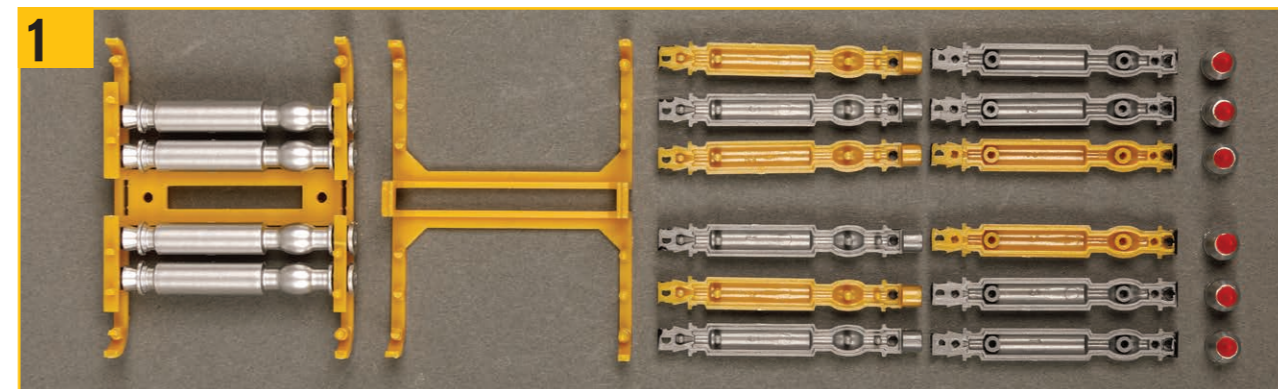
ステージ76の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのを見よう。



魚雷ラックの完成

ラックの上半分にある魚雷は、これまでとほぼ同じ方法で組み立てられ、先に組み立てた弾頭が取り付けられる。



ステージ75のパーツと、今回提供されたすべてのパーツを用意する。



今回提供された魚雷本体の上部と下部を合わせる。



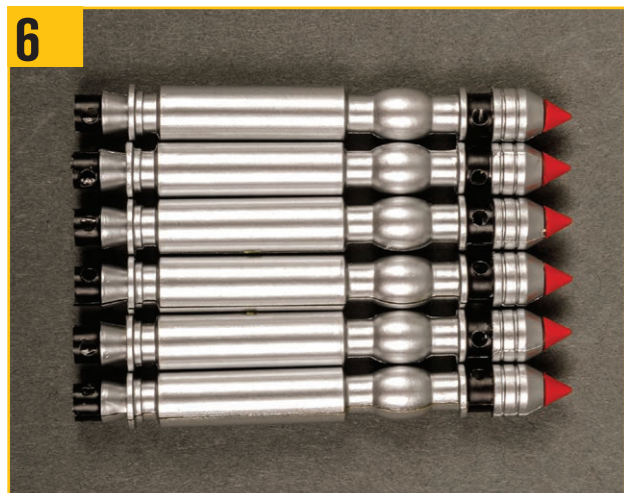
ピンを穴に合わせ、魚雷本体を押し込む。



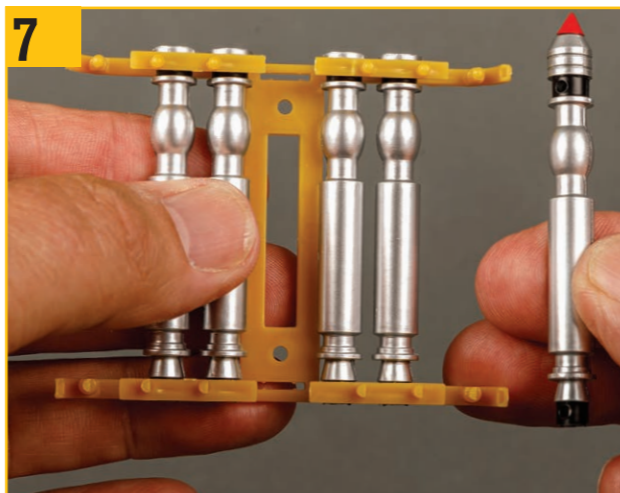
ステージ75から弾頭の1個を用意し、魚雷本体の端に合わせる。



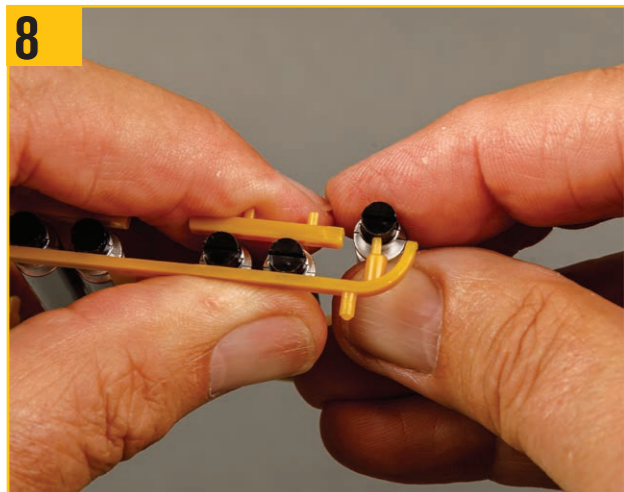
しっかりと押し込む。



6 前の手順と同様に、6つの魚雷をすべて組み立てる。



7 魚雷の1つを取り、前の4つと同じように、ラックに合わせる。



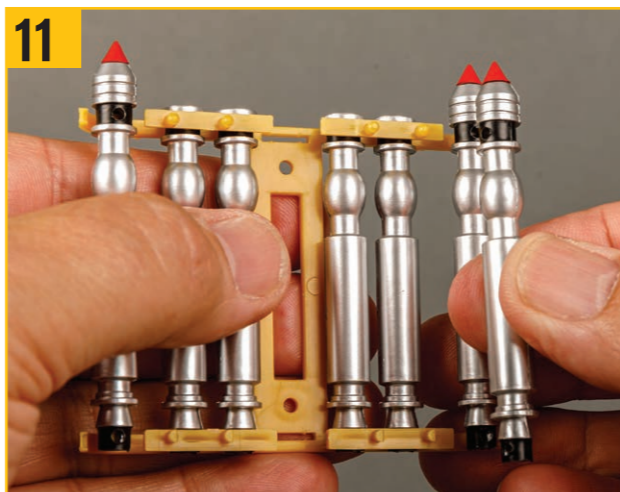
8 魚雷の穴をラックの端にある位置決めピンに合わせ、押し込む。



9 手順7~8と同様に、魚雷をラックのもう一方の端に取り付ける。



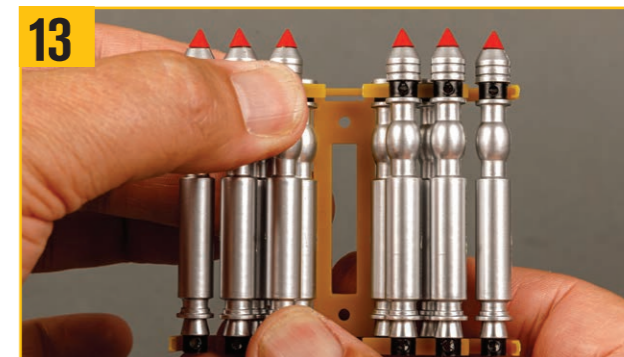
10 そうするとパーツは写真のようになる。



11 次の魚雷は、中央のスペーサーの2つのピンに収まる。



12 パーツは写真のようになる。



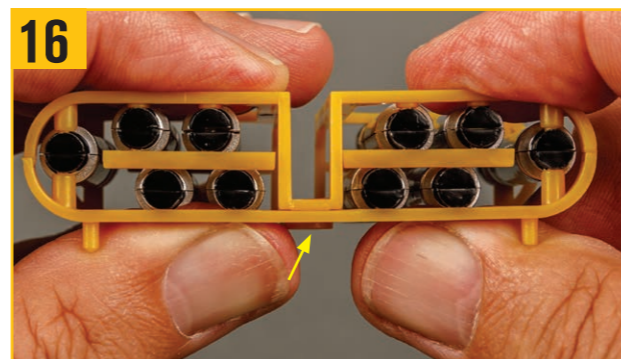
13 残りの3つの魚雷を、スペーサーの他のピンのペアに取り付ける。



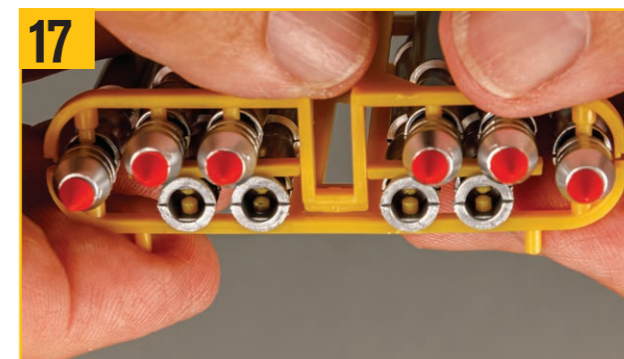
14 次に、魚雷ラックトップを取り、写真のように位置を合わせる。



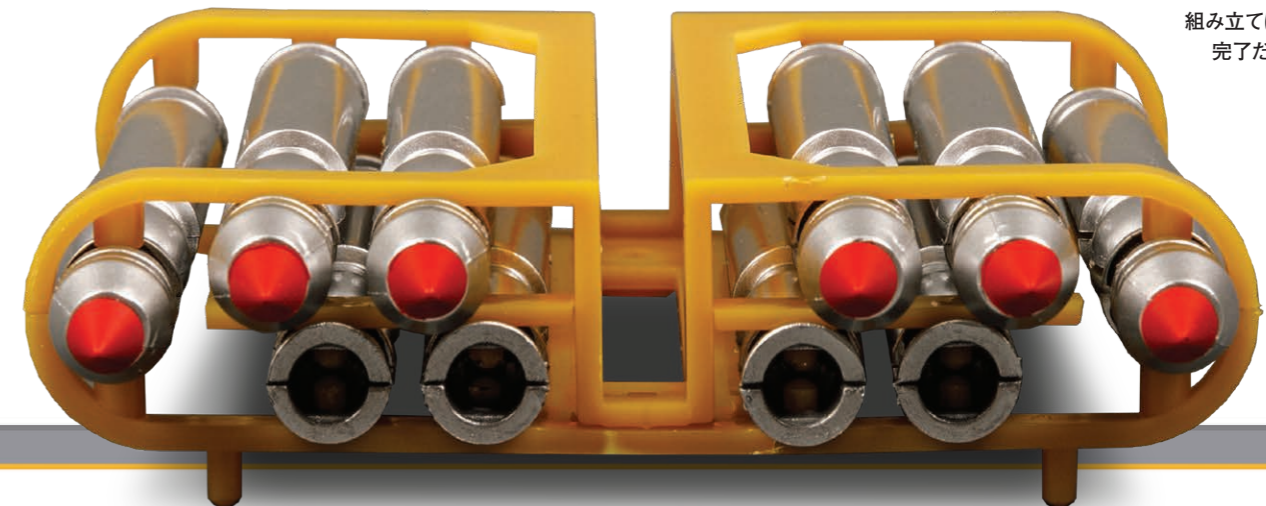
15 魚雷の上部にある穴に6対の位置決めピンをはめ込むことができる。



16 中央(矢印)のタブがラックベースのスロットに収まっていることを確認してから、両端を押し込む。



17 ラックトップとラックベースがぴったり合うようにする。



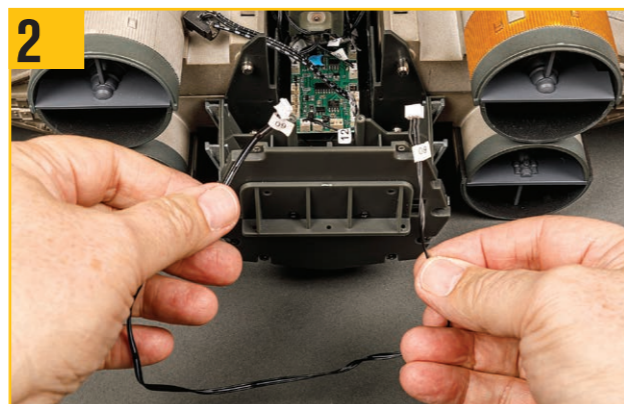
このステージの組み立ては完了だ。

配線の延長

リモコンアンテナはX-wingの機首にあるため、胴体前方を介して接続するには延長ケーブルが必要だ。ステージ72で回路基板のソケット09にアンテナをテスト接続したが、延長ケーブルを取り付けるために、アンテナはすでに取り外しているはずだ。



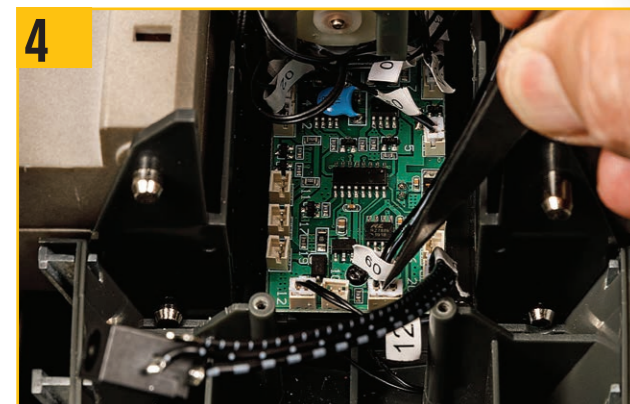
今回提供されたリモコン延長ケーブル09を用意する。



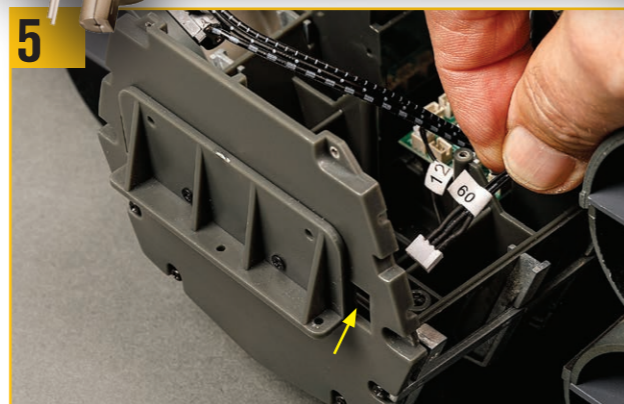
ワイヤーをほどく。



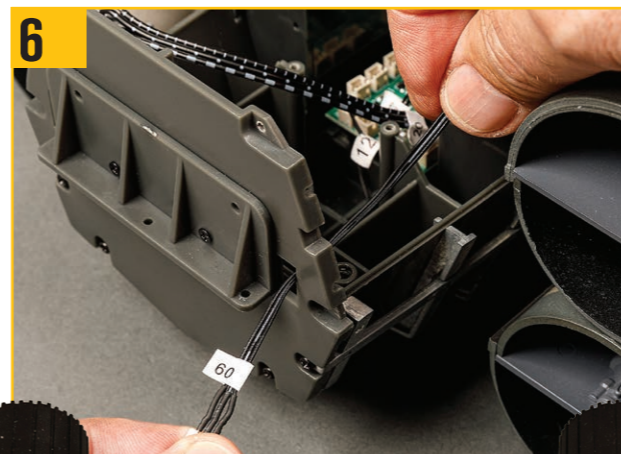
片方のプラグを回路基板のソケット09に差し込み、正しい方向に収まっていることを確認する。ピンセットがあると便利だ。



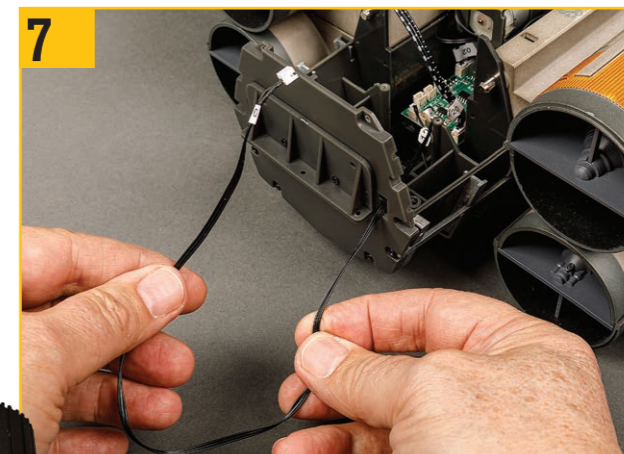
ステージ77まで接続をテストしないため、プラグをしっかりと押し込む。



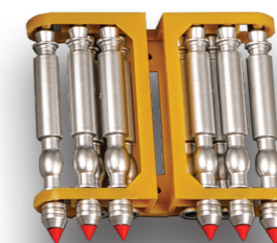
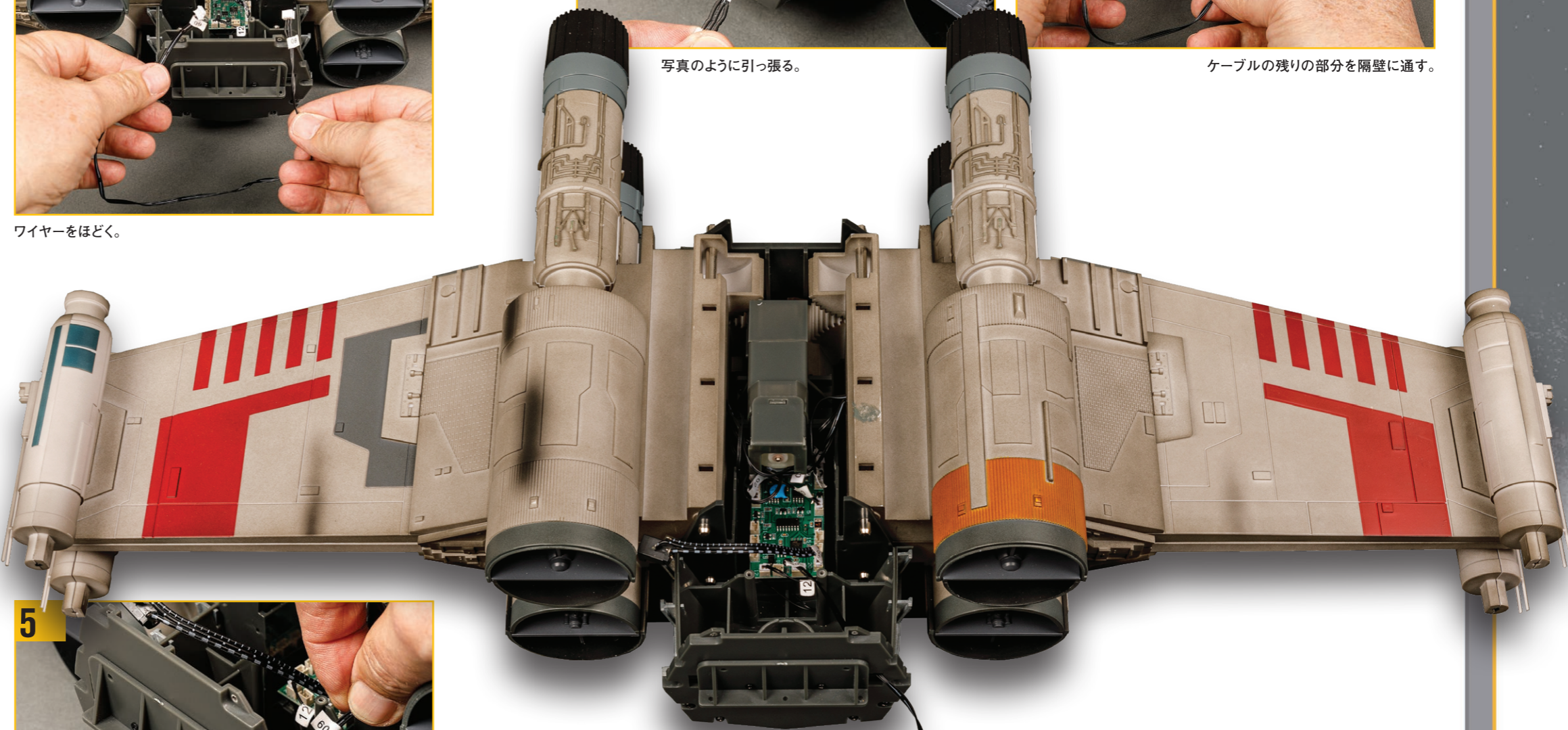
ケーブルのもう一方のソケットを、隔壁の矢印のスロットに通す。



写真のように引っ張る。



ケーブルの残りの部分を隔壁に通す。



このステージの組み立ては完了だ。